

令和5年度 製品安全対策優秀企業表彰 受賞企業講演会



2023
製品安全対策
優良企業
経済産業省



- 社名：株式会社オージーケーカブト
- 所在地：大阪府東大阪市長田西 6 - 3 - 4
- 事業内容：オートバイ用ヘルメット製造・販売

自転車用（スポーツサイクル、競技専用）ヘルメット製造・販売
日常用（幼児・児童、通学、大人用）ヘルメット製造・販売
及び周辺用品

- 設立：1982年9月
- 社員数：116名（2023年9月時点）



Motorcycle Helmets

オートバイ用ヘルメット



- フルフェイスヘルメット
- システムヘルメット
- オープンフェイスヘルメット etc.

Sports & Daily bicycle Helmets

スポーツサイクル用／街乗り自転車用ヘルメット



- スポーツサイクルヘルメット
- チャイルドヘルメット
- アーバンスタイルヘルメット
- 帽子タイプヘルメット etc.

School Helmets

通学用ヘルメット



通学時はもちろん、
生徒たちのサイクルライフ
を守る新世代のための
“スクールメット”

すべて
SG基準
認定品

- 01. 企業理念**
- 02. 応募のきっかけ**
- 03. 評価された3つの取り組みポイント**
- 04. 開発段階から量産後を通じた社内試験による安全性確保の取組**
- 05. 自社の社会的責任と交通事故発生実態を踏まえた新製品の開発**
- 06. 過去の教訓を踏まえた、リコール対応に関する文書の整理・運用**
- 07. 受賞による期待効果**
- 08. 今後に向けて**

01. 企業理念

人呼聲無

声無くして人を呼ぶとは、

心の大きさ、人徳のあるところに“人”が集まり、

商売が繁栄することにつながることに、

常に「良い商品」を創れば

お客様は黙っていても集まってくれるという意味も兼ねている。

企業理念:

The Quality of Heart “品質と心質”

経営理念: 「支えてくれるすべての人々に感謝」、
「社員が安心して働ける職場づくり」

Domain: すべての人々に安全を提供する



企業理念

The Quality of Heart “品質と心質”

温かい心と思いやりの心で我々は商品を作らなければならない。そうしてできた商品は必ずお客様に満足と安全を提供することができる。

経営理念

“支えてくれるすべての人々に感謝”、“社員が安心して働ける職場づくり”

我々は、協力工場様、販売先様に対しての感謝の心を忘れてはならない。彼らと一緒に商品を開発し、製造し、提供しているからお客様に感動できる商品を届けられるのである。社員は仕事にやりがいを感じて仕事をしなければならない。その為に会社は、社員が安心かつ文化的な生活を送れるよう努めなければならない。

MISSION

「Safety Meets Smile」すべての人に“安全と安心を提供するメーカー”

我々は“安全”を提供する企業として、責任の重さを自覚すると同時に、絶えずブランドの構築を意識し、お客様はじめ我々を支えてくれる取引様に信頼をしてもらわなければならない。またブランドとはお客様との“約束事”であることを決して忘れてはならない。

VISION

「Safety Meets Style」“かぶるヘルメットから着るヘルメットへ”

時代とともに、常に変化が求められるデザインやフォルム。そのかたちは、決して視覚的なものだけではなく、同時に機能美や快適性なども求められる。それは、「かぶるヘルメットから、着るヘルメット」へとシフトするスタイル志向の市場ニーズ。私たちは、新しい発想力を活かした商品企画で、さらなる次のマーケットを開拓していく。

CORE VALUES

すべてのお客様の笑顔にこだわるカブトスタイル

- ① 安全 国内外の安全規格に適合することにとどまらない、多様化するお客様それぞれに最適な安全性能
- ② 品質 多様なお客様それぞれにフィットする品質
- ③ 技術力 「できない」を「できる」に変える技術力
- ④ デザイン お客様の「これが欲しかった！」をカタチにするデザイン
- ⑤ 信頼感 大切な人に勧めたくなる信頼感

02. 応募のきっかけ

1 2019年 JIS認証の取り消し

弊社は2019年11月に長期間にわたり製品の組み立て場所に係る記録が適切に記載されていなかったことを確認され、その内容が重大であると認められたため、JIS認証の取消しとなりました。

2 当該事由発生時の対処の遅れにより、お客様始め多くの関係者の方々にご迷惑をかけることになる。

3 SNSなどで不適切なネット情報で炎上

お客様は安全に対する不安からSNSでの意見交換が多数交わされ、想定外の影響力の大きさを感じる。

4 収束後組織体制の整備

幸いにも販売店様やユーザーの方々の暖かいご支援もあり、2020年の春を迎えて無事収束。この件をきっかけに危機管理対策本部を設けるなどの組織体制の見直しと安全な製品開発・製造工程の流れを再構築。

今回、自分たちで対策としてやっていることが正しいかどうかを外部の目線で見えていただきたくPSアワードに応募。

03. 評価された取組み3つのポイント

開発段階から量産後を通じた社内試験による安全性確保の取組

安全性に関する充実した試験設備を社内に備え、販売前のすべての製品を対象に試験を行うとともに、量産開始後の製品についても抜き取り検査を全モデルを対象に実施し、安全性を担保している。また、合格基準も業界内で用いられる各種規格より高い水準に設定することで、ユーザーが交通事故等に遭った場合にも身体の安全が守られるよう努めている。

自社の社会的責任と交通事故の発生実態を踏まえた新製品の開発

ヘルメットは使用者の生命・身体を守る製品であり、そうした製品を製造するメーカーとしての社会的責任を果たすため、特に小学生においては自転車乗車中より歩行中における交通事故での死傷者数が多いという実態を踏まえた新製品として「歩行用ヘルメット」を開発している。従来にない製品であるため、製品に求められる性能やその評価方法、事故発生時の転倒シミュレーションの方法も含め、自社で開発している。

過去の教訓を踏まえた、リコール対応に関する文書の整備・運用

過去に起きた不具合への反省と要因分析を踏まえ、安全上の問題が起きた場合の対応について定めた「コーポレートガバナンス教書」を整備・運用している。不具合等が発生した場合の対応フローや部門間の役割分担、責任の所在を定めるのみでなく、実際に起きた過去の事例と得られた教訓、再発防止の観点で有しておくべき心得なども盛り込むことで、社内の理解および意識が均一化されるよう工夫している

04-1. 開発段階から量産後を通じた社内試験による安全性確保の取組

設計前段階からチェックを行うことが開発の設計プロセスになっている。さらに製品製作プロセスから安全を考慮して段階的に設計通りに進んでいるかチェックを行っている。

安全性の試験・検査・評価等に関する取り組み

STEP.1

製品企画の初期段階から安全性、着用感、デザインを考慮してモックアップ製作

STEP.2

モックアップを3Dデータ化して肉厚を数値化して確認を行う。

STEP.3

金型を起こす

STEP.4

試作品を作成。発泡倍率を変えて10個以上のパターンを作り、試験を行いより安全で量産性が高い量産品を決める。最終製品を開発・営業が現物確認を行う

STEP.5

パイロット生産実施。社内で安全規格試験を行う

STEP.6

量産。

チャイルド用自転車ヘルメット 設計チェックリスト

製品名		確認日	2022/7/29
開発名	KB-38	確認段階	量産型起工前
規格	SG規格(6歳以上)	生産工場	
サイズ	56~58cm	人頭サイズ	ISO-E/J

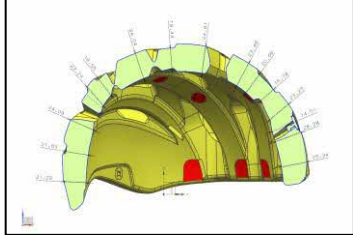
試験項目	確認	備考
衝撃試験	○	
耐圧試験	○	
ロールオフ試験	○	

EPS		厚み(mm)	備考
肉厚	SG規格	前頭部	データにて測定
		後頭部	データにて測定
		側頭部	データにて測定
		頂頭部	データにて測定

設計データ		SHELL厚み	
EPS容積		印刷SHELL重量	
重量		耐圧ASSY重量	
EPS成形後重量範囲 (社内/全規格範囲)		アジャスター重量	
組立後重量範囲 (社内/全規格範囲)			
内装重量			

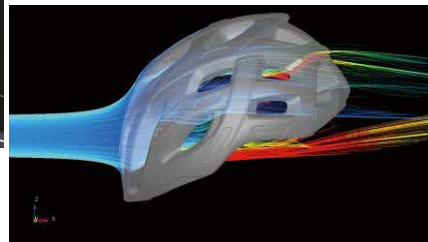
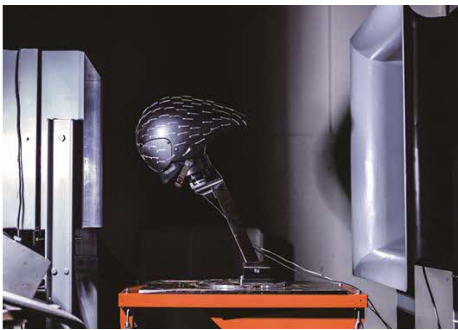
特記事項	
------	--

承認	確認	確認	担当



弊社は社内に安全試験室を設けており、販売するすべての製品に関して発売前に社内安全試験を行っている。また、量産品に関しても抜き取り検査を全モデル（45モデル）定期的に行うなどの体制で製品安全を確保している。

〈社内の風洞実験室の設備〉

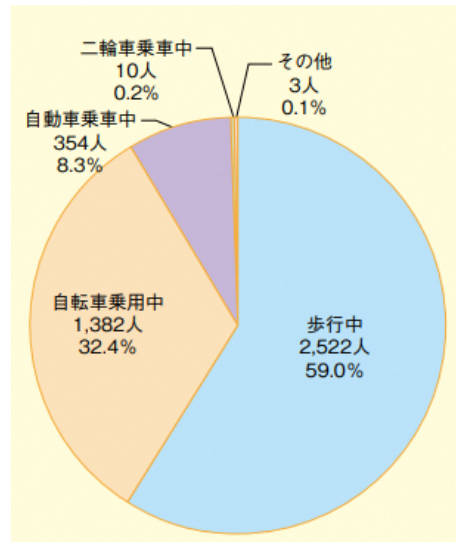


〈社内の試験室で衝撃試験を行う様子〉



05. 自社の社会的責任と交通事故の発生実態を踏まえた新製品の開発

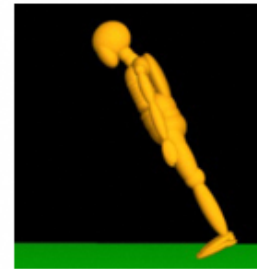
小学生の状態別死者重傷者数
(平成29年～令和3年合計)



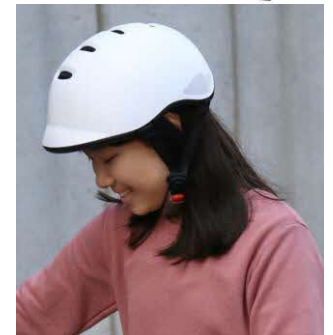
出所) 令和4年版交通安全白書

転倒シミュレーション方法の確立

・落下衝撃試験機で得られた衝撃加速度波形をもとに解析ソフト「 」で使用する頭部のパラメータを作成した。
→人体データ(ダミーモデル)を用いたシミュレーションにて(衝撃加速度・HICによる)頭部損傷を評価する方法が確立された。
→単独の転倒であってもヘルメットなしでは 、 以上となり、重大な損傷の危険性があることが明らかになった。



開発した歩行者用ヘルメット



小学生の状態別死者重傷者数(平成29年から令和3年までの合計)は、歩行中が2,522人で全体の59.0%を占めて一番多く、次に自転車乗用中が1,382人で32.4%を占めており、歩行中及び自転車乗用中で全体の約9割を占めていることから弊社は子供の安全を守るという社会的責任を果たすことを決め、弊社の製品や技術を活かし通学時の交通事故で頭部損傷による死亡事故を減らすため『歩行用ヘルメット』の開発に向け山梨大学の研究室と「歩行用ヘルメット」に求められる衝撃吸収性能を明確にし、基準数値を策定する。

06. 過去の教訓を踏まえた、リコール対応に関する文書の整理・運用



安全上の問題が起きた際に初動対応するため2020年コーポレートガバナンス教書を作成し、万が一の緊急事態の対応に備えている。

また社内にコンプライアンスヘルプライン（社内窓口、社外窓口）を設置したことによって社員が安全、安心に声をあげられる体制を構築できた。

〈コーポレートガバナンス教書の目次〉

目次		以下はコーポレートガバナンス会議（年次）で随時更新する
2020年9月 版		
P1 表紙	P10 4-1 感染対応 会社方針	
P2 目次	P10 4-2 感染心得	
P3 【前編と概要】	P10 4-3 感染防止者報告書	
P4 コーポレートガバナンスシリーズ	P11 4-4 自宅待機時におけるためのチェックリスト	
P5 第1部 【運行時マニキュア】	P12 4-5 感染防止発生時の対応要領と役割	
P6 1章 予防的リスクマネジメント	P13 5 台風・地震などの自然災害と対応	
P7 1-1 カバ管理行動基準	P14 5-1 防災管理者 火災 心得	
P8 2-1 コンプライアンス体制確立	P15 5-2 防災発生時 初動対応	
P9 2-2 コンプライアンスヘルプライン	P16 7-1 取引先制度 営業心得	
P10 3 ソーシャルメディア利用ガイドライン	P17 7-2 取引先制度 不良債権化防止	
P11 4-1 個人情報保護制度	P18 7-3 取引先制度 営業にできる手帳管理	
P12 4-2 個人情報保護制度	P19 7-4 取引先制度 初動対応	
P13 5 Kabuto Cookie（クッキー）ポリシー	P19 7-5 取引先制度 債権回収 法的対応	
P14 6 環境汚染対策	P19 第3部 初動対応	
P15 7 労働災害 労災発生	P19 初動対応 1 法令違反反社会発生	
P16 8 技術力不足による競争力劣化	P19 初動対応 2 製品不具合リコール懸念	
P17 9 労働力不足	P19 初動対応 3 環境汚染問題発生	
P18 10 緊急事態時への対応	P19 初動対応 4 SNSなどでの炎上	
P19 第2部 【緊急事態対応】	P19 初動対応 5 感染防止 社員感染発生	
P20 1-1 法令遵守問題 <公定違反と法令違反>	P19 初動対応 6 火災発生 事故発生	
P21 1-2 法令遵守問題 <遵守すべし法令>	P19 初動対応 7 取引先制度	
P22 1-3 JIS規格を踏まえた今後の対応方針	第3部 付録資料	
P23 2 製品不具合リコール 初動対応26	P19 1-1 社外連絡先 プレス関係	
P24 3-1 リコール対応 過去から学ぶ	P19 1-2 社外連絡先	
P25 3-2 リコール対応	P19 2 社内ネットワーク 取引先手帳	
P26 3-3 リコール対応 マニキュア	P19 3-1 コーポレートガバナンス マニキュア	
P27 3-4 リコール対応 対応と役割	P19 3-2 コーポレートガバナンス レビューシート	
コーポレートガバナンス会議役員		
議長	COO室長	事務局
コーポレートガバナンス会議メンバー		
Kabuto COO		

〈過去のリコール事由を文書化〉

3-1 リコール対応 過去から学ぶ		第3部【緊急事態対応】
※ 2014年6月 10月		
1. 2014年6月のリコール発生事由		
・2014年6月26日（水）		
品名：「RADIC-2」シリーズ・BPR-1シリーズのアクセサリ（ダブルゲンコ）のガン		
製造に「ラック」の第一号を社内にて製造。		
・即日 該当商品の出荷停止を指示する。		
2. リコール判定に至った経緯		
・6月26日以降 社内該当在庫の検証を実施し、実証の結果をまとめる。		
結果 特定ロットでアクセサリ（ガン）の不良が確認された。		
・7月28日（月） 本社社員に状況を報告、自主回収の指示を受ける。		
並行して、車両係（行政課）・弁護士に報告を提出する。		
・7月30日（水） ヤマトリレーションに自主回収に向けて、業務委託の相談をスタートする。		
・車両係と経理係（経理課）に自主回収の指示を出す。		
・自主回収の為、行政課からの指導介入は暫くは有りませんでした。		
・回収率の定期的な報告が必要でした。		
4. 実際のアクションのまとめ		
・2014年6月26日以降 自主回収の交換品バックアップを水面下で生産指示する。		
・告知に向けて、専門雑誌・HP・Web・店頭への資料準備		
・直接代理店と販売店への事前説明・自主回収の経緯説明を実施する。		
・自主回収交換品の搬送・スタート時の準備が整う。		
・2014年8月18日（月）一斉告知をスタート		
代理店の在庫は、当社が直接回収し、店舗在庫はヤマト経由で回収する。		
ヤマトリレーションに委託のコールセンターの期間延長も最終的に決定。		
結果的にコールセンター委託受付け業務は、9月まで延長する。		
10月1日以降は、当社にて受付業務を引継ぎ継続する。		
10月1日以降 ユーザーアクセスは3〜5件/週まで減少する。		
10月15日現在 回収率計数は90%となる。		
・該当商品の市場流通数 5,052個 自主回収数 1,160個（2015年6月現在）		
5. 実際に掛かったコスト概算		
・ヤマトへの支払い、ユーザー往還運賃とコールセンターの期間延長も最終的に決定。		
社内の存在経費は未確定ながら、		
その他諸々費用合計 概算で約 万円程度と推測します。		
6. 経験と今後の教訓		
① うまく対応できたこと		
・ヤマトリレーションに業務委託する事で、費用は抑えられたが初期の大きな山場を乗り越え、顧客に不安を届けて、10月以降の社内受付に移行できた。		
・営業部員が一丸となって、昼休みも輪番で電話対応した事に結果を感じる。		
② 良く対応できなかったこと		
・交換品に欠品が発生し、顧客に代替品をお渡しする結果となる。		
ある程度は仕方ないと思いますが・・・		
・販売店への説明が簡易で行き届かなかった。		
③ 今後、同様のことが発生した時にはこうしたいと思われたこと		
・一部のスタッフが対応に当たり、失態に陥らない社員を危機感を覚悟と懸念。		
営業部員がメインになってユーザー対応するが、他部署でも可能な対応を具体的に分担できないか？		
④ 学びと、後援に引き継ぎたいこと		
・特別表彰の場合、表彰を越えた専用メダルを編成して対応する。		
・同様の経験が起きた場合、第一に社内にて正確な情報を共有し、危機管理の重要性を伝えて、全社で対応に当たる社員を励ます。		
・各チームリーダーが関心を持って現状を把握し、メンバーに伝える事。		

〈初動対応マニュアル〉



初動対応 2 製品不具合⇨リコール懸念

第3部【初動対応】

Step 1 情報を持った者は、近隣のOGMファスのマネージャーに第一報を報告しよう

Step 2 早々に以下の＜対策＞を立ち上げを指示します ※ 法令遵守違反対応と同一

Step 3 同時に「R」リサーチ 情報収集・・・関連情報を収集を指示します
特に商品不具合やクレームなどの情報に対して、SNSでの発信を察知する

Step 4 ＜対策＞で、収集された情報の解析をします

Step 5 事象の波及範囲に即して関係者へ一報し以後の経過を注視するように依頼します

Step 6 「P」プラン 計画 【※ 教書】本編18頁以降を再読し確認します・・・以上ここまで2時間

Step 7 「D」ドゥ 実行 局番に入ります
＜重要安全性能に係る試験＞で不具合を察知する

Step 8 「C」チェック 見直し（振り直し） 時期などの折り込みをします

2020.4.10

責任者	担当 名称	実施内容	実施	実施	実施	実施
取締役	取締役	対策本部の設置と運営管理	実施			
	取締役	危機管理、記録の作成と管理	実施			
	取締役	関係機関との連絡、関係	実施			
	取締役	関係機関との連絡、関係	実施			
常務	常務	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	常務	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	常務	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	常務	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
部長	部長	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	部長	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	部長	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	部長	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
課長	課長	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	課長	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	課長	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	課長	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
主任	主任	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	主任	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	主任	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	主任	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
係長	係長	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	係長	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	係長	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	係長	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
係員	係員	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	係員	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	係員	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施
	係員	関係機関との連絡、関係	実施	実施	実施	実施

Kubota COG

07. 受賞による期待効果



企業価値を高めるためのブランディング活動に活用する計画

①コピー品と差別化を図る

〈SG認証の弊社ヘルメット〉 〈外観では区別しづらい他社ヘルメット〉

現
状



今
後



②ロゴ入り名刺 & 会社ホームページ

③社員の安全に対する意識向上

PSアワードの意味合いを理解してもらい改めて製品作りに対する思いや意識が高まったと感じる。

PSアワードゴールド企業を目指して品質管理部門を中心にTFTを結成。ご指摘いただいた項目を含め更なる体制づくりに着手している。



ステークホルダーにアピールすることによって企業のプレゼンス向上につながる！

08. 今後に向けて



命を守る企業としてあり続ける！

子どもから大人まで、あらゆる人々が安心・安全な暮らしをしていただくために。そして、やさしさであふれる未来のために。安全・安心を提供して命を守る企業としてあり続けたい！これからもお客様の笑顔とともに走り続けてまいります。

お客様からの命を守られたとの感謝の手紙や電話を月に2回ほどいただいている。詳細内容については個人情報を除き全社員でグループシェアシステムを通じて共有をしてお客様からのフィードバックを大事にしている。

株式会社オージーケーカブトの皆様

突然のお手紙失礼します。私は5年ほど前に rezza というヘルメットを購入した者です。

その頃私は中学に入りたてで、ヘルメットの良し悪しなど分からずただ「カッコいい」という理由だけで貴社の製品を選びました。

しかし、ディスプレイされた状態から自分の手にヘルメットを渡された時の軽さに衝撃を受けたことを今でも覚えています。

話は進み、ここ最近の話になるのですが、友人がダウンヒルをしている最中に石を拾って落車したそうです。一緒に走っていた友人曰く、それは見事な一回転だったとのこと。頭を打って1分ほどはクラクラしてはいたが大きな怪我には至らずそのまま走って帰ったそうです。ヘルメットがなければ確実に死んでいたとの事でした。

私の大切にしている言葉に、「知恵によって、あなたの日々は多くなり、あなたは長く生きられる。」という言葉があります。その友人はヘルメットを被らずに坂を下るといふ知恵の欠けた行動をしなかったからこそ、今でも笑って過ごせているのだと思います。

私も、貴社の製品を長く愛用し、安全な自転車ライフを過ごしていきたいと思っています。本当に良い商品をありがとうございました。

OGKカブト様へ

愛媛県佐々の中2年生です。

僕は自転車で信号なしの横断歩道をきちんと左右を見て渡り始めたとき、時速50kmほどスピードを出していた自動車に横からぶつかられるという交通事故に遭ったのですが着用していたヘルメットが僕を救ってくれました。

白のSN-10を着用していたのですが、ヘルメットの衝撃吸収体が真二つに割れて、あちこちに傷がある状態でした。

このヘルメットのおかげで、僕は全身の打撲や捻挫で済みました。

このヘルメットをわぶっていたらどうなっていたか想像もつきません。

ありがとうございました。

僕は服装や装備、安全確認もほとんど万全だったので、それでも事故が起きてしまったことが改めて分りました。

これから更上一层楼の努力をして、交通事故を未然に防ぐようがんばります。

乗り返しになります。本当に、本当にありがとうございました。

2022.12.12